

(仮称) 総社市美術博物館建設の早期実現を求める決議

博物館（歴史博物館、美術館、郷土資料館、自然史博物館、文学館、科学博物館、動物園、水族館等々を含む）は、自然や人間の営みの証拠を収集し、大切に保管して次世代へと伝える。そして、展示活動や教育普及活動にそれらを活用し、新たな価値の創造を支えている。われわれは、今に伝えられた資料を今の世代で消耗し尽くしてはならず、未来に伝える責務を有していることを強く意識して振る舞わなければならない。

本市は、古代吉備文化の発祥の地、その中心地として多くの文化遺産を有する一方、芸術文化の発展に寄与した人物を多数輩出してきた地域であり、市民はその歴史や風土を誇りとしてきた。しかしながら、現在、その営み、活動の痕跡を明らかにして後世に伝え、また、今日の芸術文化活動の発表の場として機能する「博物館」を保有しない岡山県内唯一の市に墮している。こうした現状を容認するのであれば、現代の総社市民は、文化に、地域に正面から向き合わない世代として、次世代の総社市民から厳しく指弾され、歴史の評価から切り捨てられるに相違ない。

総社市議会は、このような現況にいたたまれず、ついては、本市の特性、地域性を明らかにし、本市にとって必要な、本市のための博物館施設を造るべきと考え、本市の特性を考慮し「(仮称) 総社市美術博物館」建設構想を提示する。当局は、地域の歴史と伝統を敬い、今を生き、そして未来に生きる市民に対する教育的投資として、この「(仮称) 総社市美術博物館」を早期に設立すべきであり、その実現のために市内外の英知を集めて具体的な建設計画を策定することを求める。

以上、決議する。

平成25年6月3日

岡山県総社市議会